



日本共産党市会議員

館田るみ子活動だより

第52号

二〇一三年十月
 日本共産党東青地区委員会
 青森市中央三丁目二一―十五
 七七七 七二四一
 市役所内 七二二 八九〇四

国保税の引き上げで、新たな滞納者3511世帯 差し押さえ県内一多く884件、学資保険の差し押さえも

減免の拡充を 求める

館田るみ子市議は、九月議会会で「安倍政権の物価上げ政策と円安で、物価が上がり続けている中で、所得が増えないのに国保税が引き上げられた。十月には年金が引き下げられる。このままではいけないかと心配される」と述べた上で滞納状況と払いたくても払えないでいる低所得者の減免制度を拡充するよう求めました。

学資保険の 差し押さえはやめるべき

青森市の国保加入世帯の7割は所得100万円以下であり、滞納している世帯の7割近くが所得100万円以下です。

館田市議は「低所得者は非課税となっているのに国保税は『負担と給付の公平性』を理由に所得ゼロ世帯にも容赦なく課税される。滞納が続けば、正規の保険証が取り上げられ差し押さえ通知がくることになる。『国保税滞納者への差し押さえは年々増加し、青森市の差し押さえは県内で一番多く、子どもの未来を奪うことになり学資保険まで差し押さえられている』と指摘し、やめよう求めました。



自席から再質問する館田市議

伊藤哲也企画財政部長

「16件差し押さえしているが、学資保険は法律で差し押さえ禁止財産となっていない」と答弁。

館田市議は「国会で管直人総理は『胸が痛む思い』と答え、大阪府の知事（村松前知事）は『小額の学資保険を苦しい家計の中から営々と積み立てている場合には留保すること』と指示をし、大阪府内の市町村では学資保険の差し押さえをやめている」と紹介し、鹿内市長の英断を求めました。

「しかし、差し押さえし約し充当せずに一時保留し、世帯の収入や家庭状況を聞いて相談にあたり、学資保険の差し押さえをやめることを認めませんでした。」

館田市議は「滞納した税金を分割納付している人が生活保護を受給した場合、法律で滞納処分が執行が停止されることになつていて通知をしなればならないのに、通知をせずに自主的納付だと言つて納めさせていることは問題だ」と追求しました。

伊藤哲也企画財政部長

生保受給者への 取り立ては法違反

青森市は「国保を良くする会」の「減免申請用紙を送付するよう」との求めに「一律に配布出来ない」と拒否していましたが、館田市議の再質問に答えて「実施する方向で協議していきたい」と表明しました。

国保税の 減免申請用紙を送付

館田市議は「残さの一番いい処分方法は何か、『青森県ホタテガイ養殖残さ対策協議会』で検討している再資源化に市としても積極的に取り組むように」と、残さから悪臭が発生しないうちに処分出来るよう、土日でも処分場で受け入れられないか」と求めました。

新城地区の下水道整備を急げ

木村敏幸環境部理事より「西高校踏切付近などの整備に目途がついてきているから、引き続き隣接している区域から整備出来るよう、事業認可区域を拡大していく」と答弁がありました。

「旧阪本酒店付近のT字路交差点にロードミラーはなぜ設置出来ないのか」との質問に小野都市整備部理事は「町会から要望があつたが、市が管理する道路でないのだから」と答弁。館田市議は「公道を走つてくる車が見えず危険だから要望しているのに、交通安全に市道も私道もない。私道でも以前は設置していた」と追求したところ「他都市の状況を調査し、検討してみる」と答弁がありました。

「平成が一番」「憲法9条を守る」をテーマに「くりました。」

